

日本スポーツ協会への加盟と オリンピック競技化を目指します !!



▲フルコンタクト空手は、直接、攻撃を当てる競技として発展してきました

沖縄から発祥した空手は、普及の過程で様々な競技ルールが考案されました。その中で生まれた2大潮流がノンコンタクト（オリンピック採用）と私たちのフルコンタクトです。両者はそれぞれの武道観のもとで発展普及し、別競技として活動してまいりました。世界2,000万人、国内20万人の競技人口を誇るフルコンタクト空手は、国際的な社会体育として老若男女に親しまれ、世界的普及度や人気、そして公益性と安全性を兼ね備えた競技として公益財団法人日本スポーツ協会（旧＝公益財団法人日本体育協会）への加盟、その先にはフルコンタクト空手として単独でのオリンピック競技化の実現を目指しております。

手道（2人制）の2020年東京オリンピック正式種目になった署名活動（10/28～11/1）の成果が、1,033人の署名を集めました。

▲2014年に実施したフルコンタクト空手のオリンピック競技化の署名運動は、全国から103万3095名も集まり、あらためてみなさんの熱意を感じることができました

フルコンタクト空手を統括する競技連盟があります

空手競技にはフルコンタクトとノンコンタクトの2種類の異なる競技ルールが存在しています。後者がWKFとして国際連盟の基盤を築き、2020年のオリンピック参加となったのに対して、前者は2012年まで多数の実技団体を統括する競技連盟が存在せず、各実技団体が、それぞれの大会を開催し、それぞれのチャンピオンを決めていました。そんな中、フルコンタクト空手の各実技団体・各会派が志をひとつにして、2013年3月にフルコンタクト空手界初の国内連盟となるJFKO（全日本フルコンタクト空手道連盟）を創設しました。活動の柱は、①競技種目の確立、②社会認知の向上、③国際的な組織化の3つ。これらを実現するために、日本スポーツ協会加盟、スポーツアコード加盟、オリンピック競技化を目指しています。2015年7月1日には一般社団法人から公益社団法人として内閣府から認可され、日本スポーツ協会加盟に向けて、段階的に市区町村体協、そして都道府県体協への加盟活動を展開しています（別紙参照）。



**WFKO設立へ向けて各国が結束
世界29ヵ国がベルギーに集結**

◀WFKO設立を目指して29ヵ国、12団体、350名がベルギーで開催された第1回ヨーロッパフルコンタクト空手キャンプへ参加。世界チャンピオン6名が一堂に会しました

フルコンタクト空手は、半世紀の歴史があります

空手競技誕生の歴史は、表Aのようになっています。1954年から1962年は安全面と実戦面での試行錯誤が背景にあり、ルールも不安定でした。その流れから、2つの大きな潮流が生まれます。それが1969年に開催された極真会館全日本大会（9月）と全日本空手道連盟全日本大会（10月）です。前者は、1965年に大山信達（極真会館総裁）が創設した極真会館（現在複数の実技団体に分派）が採用したフルコンタクトルール、後者はノンコンタクトルールとして、それぞれが独立の道を突き進むこととなりました。もちろん現在も、2つの競技ルールが存在しています。とくにフルコンタクト空手の国内連盟であるJFKOが統一競技会の開催を始動すると世界的な統一競技会へのニーズが高まり、国単位でフルコンタクト空手の統一競技会が活発に開催されるようになりました。海外の動向を追っていても分かるように、世界的な統一競技連盟となるWFKOの創設は目前まで迫っています。



▶半世紀の歴史があるフルコンタクト空手は、新連盟発足の年1回の大会から19回開催。4年ごとの世界大会も開催され、その他々の大会も実施を重ねています



◀フルコンタクト空手初の全国統括組織となったJFKOは、2014年に統一大会を開催しました

安全で老若男女に大人気！ 世界各国で競技会が盛んに開催されています!!

フルコンタクト空手は、直接相手に攻撃を当ててダメージの蓄積を争う競技です。安全面の心配をされる方も多いようですが、道場には子どもや女性、高齢者も多く見受けられ、みなさんが楽しく稽古に取り組んでいます。最強を目指す一般は素手素足で試合をしますが、ジュニアやシニア、レディースは専用の防具を着用して一層の安全対策を致します。競技を重ねるうちに肉体が鍛えられ、心身ともに健康になる。強

くなるほどに相手を思いやり、優しくなることも特徴のひとつです。ほぼ毎週のように子どもからシニアのクラスに分かれた大会が全国各地で開催され、中には数千人規模まで参加者が膨らむ大会もあります。海外でもその傾向があり、日本から発信したフルコンタクト空手が今では世界の共通言語として定着しています。



▶安全面を慮した防具を使用した大会が、全国各都府県で開催されています。右は、JFKOのフルコンタクト委員会が開催した幼年から高校生参加の全日本ジュニア大会。左は老若男女のリーガフェスティバルの17歳全国大会

表 A 空手競技誕生の歴史	
1954年	練武会全日本大会（防具ルール）
1957年	日本空手協会全国大会（ノンコンタクトルール）
1959年	旧全日本空手道連盟全日本大会（防具ルール）
1962年	日本拳法空手道 空手競技大会（グローブノックアウトルール）
1969年	極真会館全日本大会（9月・フルコンタクトルール）
1969年	全日本空手道連盟全日本大会（10月・ノンコンタクトルール）

フルコンタクトはノンコンタクトと異なる別競技です 独自に日本スポーツ協会加盟を目指します

日本スポーツ協会加盟の類似競技組織が共存している例は、少なくありません。表1のようにすでに認可を受けている類似競技を並べてみても、こんなにたくさんの類似競技組織

が日本スポーツ協会と共存しています。空手も同じように2つの競技があるため、JFKOも認可を受けて当然と主張します。空手はフルコン・ノンコンで共存・共栄を目指します。

表 1 日本スポーツ協会に加盟している類似競技組織一覧

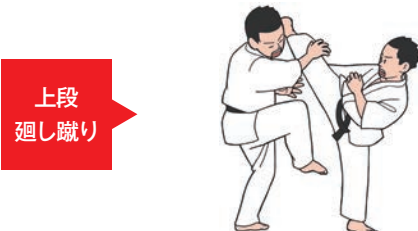
野球・ソフトボール	射撃
- 公益財団法人日本野球連盟 - 公益財団法人全日本軟式野球連盟 - 公益財団法人日本ソフトボール協会 3つの競技の大きな違いは、規定サイズの硬式球、軟式球をゲームで使用。そして野球よりも小さなフィールドで、サイズが大きいソフトボールを取り入れていることがそれぞれの特徴です。	- 一般社団法人日本クレー射撃協会 - 公益社団法人日本ライフル射撃協会 クレー射撃は移動する射撃する競技で、ライフル射撃は設置された的を射撃して得点を争う競技です。
テニス	競艇
- 公益財団法人日本テニス協会 - 公益財団法人日本ソフトテニス連盟 - 一般財団法人日本バウンドテニス協会 上位2つのテニスも野球と同様に、硬式球と軟式球を使用している点に組織の違いがあります。3つ目のバウンドテニスは、軟式・硬式よりも小さいラケット、軟式球よりも小さいボールを使用し、バドミントンコートと同程度のスペースで競い合う競技です。	- 公益社団法人日本ボート協会 - 公益財団法人日本セーリング連盟 - 公益社団法人日本カヌー連盟 ボートは前に進む、カヌーは後ろに進むのが大きな違いです。ボートは直線2000メートルのタイムを争う競技で、カヌーは何種類も競技種目があります。セーリングは、船体の帆の風の揚力を動力として、水上を滑走する速さや技術で競い合います。
ゴルフ	剣道
- 公益財団法人日本ゴルフ協会 - 公益財団法人日本グラウンド・ゴルフ協会 グラウンドゴルフは、一般に普及されたゴルフと違い、規格化されたコースを使用しません。専用のスタートマットとホールポストを設置すれば、どこでも競技が可能となります。ファミリー向けのゴルフと定義すると分かりやすいかもしれません。	- 一般財団法人全日本剣道連盟 - 公益社団法人日本スポーツチャンバラ協会 剣道は竹刀を用いて、指定された部位を打ち突くなどで優劣が決まります。剣道から派生したスポーツチャンバラは、エアソフト剣でどこを打っても有効打となるのが特徴です。
ウエイトリフティング	弓道
- 公益社団法人日本ウエイトリフティング協会 - 公益社団法人日本パワーリフティング協会 ウエイトリフティングは、スナッチとクリーン＆ジャークの2種目で競い、パワーリフティングはスクワット、ベンチプレス、デッドリフトの3種目の総計を競うスポーツです。	- 公益財団法人全日本弓道連盟 - 公益社団法人全日本アーチェリー連盟 弓道は和弓、アーチェリーは洋弓を使用。前者は弓の右側を矢が通り、的にあてた場所の他に振る舞いなども加味して競い合います。後者は弓の左側を矢が通り、的の中心に近いほど高得点となり、点数で優劣を決めます。

フルコンタクトとノンコンタクトのルールの違い

これまでも説明しましたようにJFKOが採用するフルコンタクトルールとWKFが採用するノンコンタクトルールは、まったく違うルールです。以下に挙げた例からも分かりますように、異なる競技のため、これからは統合されることはありません。

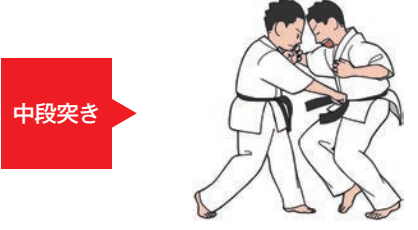


相対的な実戦攻防を重視する フルコンタクト



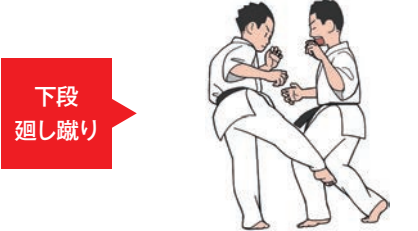
上段
廻し蹴り

フルコンタクトの上段蹴りは、直接、打撃を当てダメージを狙うため、廻し蹴りの他、カカト落とし、胴廻し回転蹴りなど多彩な技が生まれました。対してノンコンタクトの上段蹴りはダメージを与えると反則になりますので、フルコンタクトとはまったく違う技術が必要になります。



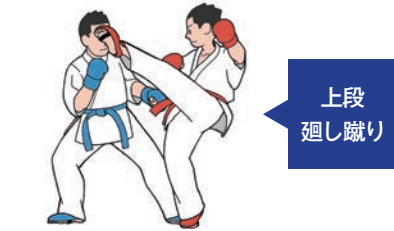
中段突き

上段廻し蹴りと同じように中段突きも、フルコンタクトはダメージの蓄積を狙いますので、威力や連打が重視されます。一方のノンコンタクトは単発で技が入るたびに試合が中断するため、必然的に技術や動きもフルコンタクトと変わってきます。

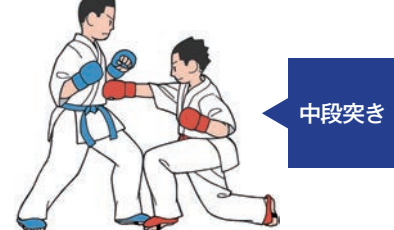


下段
廻し蹴り

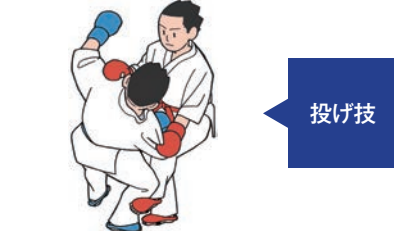
それぞれの競技に独特な技もあります。フルコンタクトは下段廻し蹴りが許されていますが、ノンコンタクトは禁止です。またノンコンタクトには投げ技がありますが、フルコンタクトは反則になっています。



上段
廻し蹴り



中段突き



投げ技

【主なルールの違い】

フルコンタクト（ノックアウト制）	ノンコンタクト（ポイント制）
特徴：主に急所以外には防具を着用せず、攻撃可能部位への突き・蹴りによるダメージの蓄積量、それにとまらぬノックアウト、また指定された有効技の成立によって勝敗を決する。	特徴：主に顔部以外の全身に防具を着用し、攻撃可能部位への突き・蹴りでの寸止め、または接触、また指定された有効技の成立によってポイントを加算し、そのポイントの累積で勝敗が決する。
(1) 攻撃可能部位：頭部・胴体・脚部	(1) 攻撃可能部位：頭部・胴体
(2) 指定された有効技：足払いからの下段突き	(2) 指定された有効技：投げ、足払いからの下段突き
(3) 主な反則技：手技による顔面攻撃・投げ技	(3) 主な反則技：指定された攻撃部位以外の攻撃 ダメージを狙った過剰な加撃



公益社団法人全日本フルコンタクト空手道連盟
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9-20 2F
TEL : 03-5227-7855 FAX : 03-5261-3661 URL : <http://fullcontact-karate.jp>



強く、美しく、ダイナミックに。
日本発祥の武道競技
フルコンタクト空手

フルコンタクト空手

競技人口国内20万人、世界2,000万人の夢の実現へ向け、
私たちは日本スポーツ協会加盟を目指します。

市区町村フルコン連盟の体育協会 及びスポーツ少年団への加盟実績

2018年4月現在、各市区町村のフルコンタクト空手道連盟の多くが体育協会やスポーツ少年団に加盟し、空手教室、講習会、大会、イベントでの演武の披露など、地域に根差した活動を定期的に行なっています。加盟地区は別表の通りです。

■ 市区町村体育協会

※ () は代表・幹事団体

北海道

石狩市	(修練會)
滝川市	(丈夫塾)
二セコ町	(新極真会)
室蘭市	(修武會)

愛知県

岡崎市	(七州会)
北名古屋市	(佐藤道場)
瀬戸市	(男塾)
知立市	(闘英館)
東海市	(七州会)
豊明市	(極真会館 浜井派)
豊田市	(七州会)

三重県

桑名市	(真誠塾)
-----	-------

岐阜県

各務原市	(桜心会)
可児市	(芦原会館)

大阪府

岸和田市	(一光会館)
守口市	(新極真会)

兵庫県

豊岡市	(烈士塾)
-----	-------

徳島県

美馬市	(新極真会)
-----	--------

福岡県

鞍手町	(福本会館)
-----	--------

宮崎県

小林市	(魁 寺田塾)
日南市	(志逞會)

鹿児島県

天城町	(新極真会)
奄美市	(新極真会)
喜界町	(新極真会)
瀬戸内町	(新極真会)
徳之島町	(新極真会)
与論町	(新極真会)

■ 市区町村スポーツ少年団

※ () は代表・幹事団体

北海道

石狩市	(修練會)
奈井江町	(闘心會)

茨城県

取手市	(桜琳塾)
-----	-------

埼玉県

秩父市	(誠親館)
-----	-------

石川県

石川県全支部	(極真会館 浜井派)
白山市	(空柔館)

愛知県

あま市	(学心会)
一宮市	(祐心会)
春日井市	(極真会館 尾張松田道場)
東海市	(七州会)

大阪府

和泉市	(聖心會)
泉南市	(金森道場)
泉南市	(真誠會館)
阪南市	(真誠會館)

福岡県

水巻町	(福本会館)
宮若市	(福本会館)

大分県

津久見市	(芦原会館)
------	--------

宮崎県

えびの市	(野崎塾)
えびの市	(覇道会)
日南市	(遊天会)
宮崎市	(暁)
宮崎市	(一道会)
宮崎市	(極真会館 宮崎山下道場)
宮崎市	(心眼塾)

都道府県連盟が全国で発足 日本スポーツ協会加盟を目指して活動が活性化

全日本フルコンタクト空手道連盟（JFKO）が設立された2013年以降、都道府県単位のフルコンタクト連盟が続々と発足しています。全国に先がけて下記の4道県で JFKO 公認大会が開催され、県外を含む多くの団体・選手が参加。男女ともに

年齢別や体重別で、熱戦を繰り広げています。市区町村体協加盟活動から、都道府県体協加盟に繋げ、その先に JFKO の日本スポーツ協会加盟を目指します。

■ 第2回北海道フルコンタクト空手道選手権大会

日 時	2017年7月9日
会 場	南幌町スポーツセンター
主 催	北海道フルコンタクト空手道連盟
参加団体数	16 団体
出場者数	173 名
部 門 数	29 部門

※「第2回北海道フルコンタクトカラテ交流大会」と同時開催。参加団体数以下は両大会合計の数字



1 2016年10月に開催された第1回大会から参加団体、出場人数が増加し、着実にスケールアップをはたしています。2 一般部のみで争われた選手権大会は、男女6部門に計34名がエントリー。団体の垣根を越えた闘いに、会場は白熱しました。3 交流大会が同時開催され、幼年、小学生、中学生、シニアとさまざまな年代から、計139名が出場しました

■ 第1回愛知県フルコンタクト空手道選手権大会

日 時	2017年9月18日
会 場	瀬戸市体育館
主 催	愛知県フルコンタクト空手道連盟
参加団体数	46 団体
出場者数	272 名
部 門 数	60 部門

※「第1回愛知 CUP ジュニアフルコンタクト空手道選手権大会」と同時開催。参加団体数以下は両大会合計の数字



4 記念すべき愛知県初の統一大会には、県内を中心に46の団体が集結しました。5 愛知県フルコンタクト空手道連盟の会長を務める深澤道雄氏（七州会）が、あいさつを行ないました。6 JFKO 全日本大会に出場経験のある選手も多数参戦し、レベルの高い攻防が展開されました

■ 第1回岐阜県フルコンタクト空手道選手権大会

日 時	2017年12月3日
会 場	岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム
主 催	岐阜県フルコンタクト空手道連盟
参加団体数	40 団体
出場者数	540 名
部 門 数	42 部門

※「第12回カラテ・リトルチャレンジカップ」と同時開催。参加団体数以下は両大会合計の数字



7 近隣の三重、愛知に続き、岐阜県でも初の統一大会が開催されました。8 選手権大会は一般男女、壮年男子、高校生男女の合計9部門で争われました

■ 第2回三重県フルコンタクト空手道錬成大会

日 時	2018年3月11日
会 場	松阪牛の里オーシャンファーム武道館
主 催	三重県フルコンタクト空手道連盟
参加団体数	15 団体
出場者数	240 名
部 門 数	27 部門

※「三重県空手道錬成大会2018」と同時開催。参加団体数以下は両大会合計の数字



9 2017年3月に続き、2回目の開催となった三重県フルコンタクト空手道錬成大会。愛知や岐阜、関西地区など、県外からも多くの出場がありました。10 同時開催された三重県空手道錬成大会2018では、幼年、小学生、中学生、シニアの計23部門で熱い闘いが繰り広げられました